

# 第69回 医学教育セミナーとワークショップ in 信州大学

2018年8月18日(土)PM ~ 19日(日)AM  
信州大学医学部附属病院

セミナー 支援ニーズがある学生や医療者への具体的対応を学ぶ

**ML** 講師：高橋知音（信州大学教育学部）

WS-1 模擬患者大交流勉強会

**TL** 企画：藤崎和彦・早川佳穂（MEDC）

WS-2 発達障害のある医療系の学生・スタッフへの対応

**ML** 企画：高橋知音・篠山大明（信州大学）、芳賀 了（長野県立病院機構）、川上ちひろ（MEDC）

WS-3 現場に役立つ研修をデザインする

**CD** 企画：清水郁夫（信州大学）、浅田義和・八木街子（自治医科大学）、三原 弘（富山大学）

WS-4 学びに誘う、学びを深める **FELLOWSHIP**

**TL** 企画：今福輪太郎・西城卓也（MEDC）、西屋克己（関西医科大学）

WS-5 卒後臨床研修事務職員の役割：ペーパーワークを越えて

**ML** 企画：青野真弓（聖路加国際病院）、浅川麻里（堺市立総合医療センター）、室谷嘉一（東北医科薬科大学）、増田雄一（信州大学）、金子祥子（藤田保健衛生大学病院）

WS-6 Post CC OSCEの課題を作成しよう

**A** 企画：森 淳一郎（信州大学）、岡崎史子（東京慈恵会医科大学）、清水郁夫（信州大学）

\*記号（**TL** 等）は、アソシエイト認定のための学習領域を表しています。詳細は、MEDCホームページをご覧ください。

8月18日(土)				
13:00-17:00	WS-1	WS-2	WS-3~	WS-4~
17:15-18:30	セミナー			
18:45-20:00	懇親会			
8月19日(日)				
9:00-13:00	WS-5	WS-6	~WS-3	~WS-4

第70回  
自治医大  
2018/11/3-4

第71回  
岐阜  
2019/1/25-26

第72回  
岐阜 併催  
第20回教務事務職員研修  
2019/5/24-26

第73回  
愛知学院  
2019/8/9-10



2018  
夏

## セミナー 支援ニーズがある学生や医療者への具体的対応を学ぶ

ML

講師：高橋知音（信州大学教育学部）

日時：8月18日(土)17:15～18:30

概要：講師の高橋氏は、国内外におけるとくに発達障害学生支援に精通しており、文部科学省の「障がいのある学生の修学支援に関する検討会」委員を務めるなどしている。高等教育機関においては、特別な支援ニーズがある学生へ支援方法の構築が積み重ねられてきている。医療者養成機関においても特別なニーズがある学生が在籍しており、早急な対応が必要になってきている。また、障害者差別解消法の施行に伴い、合理的配慮の提供が義務化された。このセミナーでは、合理的配慮の提供義務とは具体的にどのようなことなのか、支援ニーズのある学生に対して、どのようなスタンスで関わるのか、またどのように支援すればいいのかを具体的に提示してもらう。そして、医療系学生、さらには臨床における医療者への支援につながるように、参加者とともに検討したい。

## WS-1 模擬患者大交流勉強会

TL

企画：藤崎和彦・早川佳穂（MEDC）

日時：8月18日(土)13:00～17:00（4時間）

概要：模擬患者大交流勉強会は、これまで岐阜、東京、徳島、札幌、広島、千葉、沖縄、博多、埼玉、香川、兵庫、岡山と全国各地で行われてきましたが、今回は信州で行います。模擬患者参加型教育は発展し続け、医療者教育においてさまざまな場で模擬患者が活躍しています。また、共用試験実施評価機構のPost CC OSCEのトライアルが始まるなど、ますます模擬患者への需要が高まってきている状況です。従来の医学、歯学、薬学だけでなく、看護やリハビリ教育においてもコアカリキュラムに基づく教育が議論されるようになり、コミュニケーション教育も一層の広がりが求められるような時代になってきました。みなさん、信州松本の地に今年度も是非ご参集いただき、交流を深めましょう。事前課題：日常の活動の中で、困っていることや悩んでいることなど、話し合いたい内容を考えてきてください。

対象：模擬患者参加型教育にかかわる模擬患者、教員、指導者、学生、研修医、医療スタッフ 定員：60名

## WS-2 発達障害のある医療系の学生・スタッフへの対応

ML

企画：高橋知音・篠山大明（信州大学）、芳賀了（長野県立病院機構）、川上ちひろ（MEDC）

日時：8月18日(土)13:00～17:00（4時間）

概要：高等教育機関においては、特別な支援ニーズがある学生への対応がされており、その方法の構築も積み重ねられてきている。医療者養成機関においても特別なニーズがある学生が在籍しており、その支援方法の構築について早急な対応が必要になってきている。また医療系の場合、卒業後医療機関等で医療者として従事するため、臨床現場においても支援方法を考えていく必要がある。このワークショップでは、とくに発達障害のある学生や医療者に対する適応の困難さや支援の方法について、参加者とともに検討したい。

対象：医療者養成施設・医療機関の教育担当者など 定員：30名

## WS-3 現場に役立つ研修をデザインする

CD

企画：清水郁夫（信州大学）、浅田義和・八木街子（自治医科大学）、三原弘（富山大学）

日時：8月18日(土)13:00～17:00・19日(日)9:00～13:00（8時間）

概要：医療現場は日々高度化・複雑化しており、社会が寄せる臨床業務への期待は、そのまま効果的な研修への期待に直結します。一方で、忙しい中で実施される研修は参加者にとって魅力的なものではありません。本ワークショップでは、インストラクショナルデザインの手法を用いて、研修計画を立案・改善できるようになることを目指します。参加者の皆様に研修の概要（既存のものでも構想段階のものでも結構です）を持参していただき、討議する過程を通して上記の目標を達成したいと思います。

対象：所属先での研修を立案・改善しようとしている方。どの医療専門職でも参加可能です。 定員：20名

## WS-4 学びに誘う、学びを深める

TL FELLOWSHIP

企画：今福輪太郎・西城卓也（MEDC）、西屋克己（関西医科大学）

日時：8月18日(土)13:00～17:00・19日(日)9:00～13:00（8時間）

概要：「学生は講義で寝てばかり」「新人の学びが遅い」「言われた仕事しかない」「やる気が感じられない」等学習者に関する愚痴がしばしば議論されます。学習者を受動的から能動的に、依存的から主体的にするためにはどうしたらいいのでしょうか。アクティブ・ラーニングは必ずしも新しい概念ではありませんが、それでも学習者をアクティブにする方法に関してはまだまだ議論の余地があります。世の中において自分の意思で変えられるものは、過去ではなく未来、他人ではなく自分です。学習者が徐々にアクティブになることを目指して、明日からの自分を変えましょう。今回は、メドギフトモジュール1で学んだ意味のある学び・魅力ある評価・教育のデザインを生かし、明日からの自分の教育実践に違いをもたらす計画を超実践的に考えます。

対象：フェローシッププログラム2018モジュール1参加者限定（一般の参加者は受け付けておりませんのでご了承下さい。）

## WS-5 卒後臨床研修事務職員の役割：ペーパーワークを越えて

ML

企画：青野真弓（聖路加国際病院）、浅川麻里（堺市立総合医療センター）、室谷嘉一（東北医科薬科大学）、増田雄一（信州大学）、金子祥子（藤田保健衛生大学病院）

日時：8月19日(日)9:00～13:00（4時間）

概要：臨床研修が必修化して10年以上が経過し、研修事務職員の役割はますます重要になってきています。書類作成、データ管理等の事務的業務だけでなく、研修医や指導医に対する様々な支援の役割を担っています。このワークショップでは、全国の臨床研修事務担当者の皆さんにお集まりいただき、研修事務職員の役割と課題について討論し、先進事例や業務に役立つノウハウについて学び、卒後臨床教育の充実をめざして連携の輪を作ってゆきたいと思えます。

対象：臨床研修病院（大学病院、一般病院）の研修事務担当者、研修プログラム責任者、指導医 定員：50名

## WS-6 Post CC OSCEの課題を作成しよう

A

企画：森 淳一郎（信州大学）、岡崎史子（東京慈恵会医科大学）、清水郁夫（信州大学）

日時：8月19日(日)9:00～13:00（4時間）

概要：診療参加型臨床実習の導入に伴い、その到達度を測定するためにPost CC OSCEを実施する大学は急速に増えている。さらに、2020年度よりPost CC OSCEが全国的に実施されることになっている。しかし、限られた物理的制約のなかで学生の能力を正確に測定するためには、十分な妥当性を備えた適切な課題を用意しなければならない。本ワークショップでは、各大学の教員が討議をすることを通してPost CC OSCEの課題を作成するノウハウを共有するとともに、実用に耐える課題を複数個作成することを目指す。

対象：Post CC OSCE実施運営に関わる医学部教員 定員：20名



# 参加登録方法

**事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。**  
**「MEDC」で簡単検索できます。**

**締め切り：2018年 8月 5日(日)**

ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。  
ワークショップ運営上、各々定員を設けております。  
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

**参加費：** 2,000円 学部学生無料

**懇親会費：** 4,000円

参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。  
参加費は、当日資料ならびに第69回医学教育セミナーとワークショップの報告が収載されている「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。参加者には後日、「新しい医学教育の流れ」の冊子およびCD-ROMを送付いたします。  
(学部学生への送付はありません)

**会場：** 信州大学医学部附属病院  
(〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1)

